

名大の時間

私の看護研究における取り組み―卒業研究を通して―

として看護研究に取り組んでいます。私は、探索したい研究のテーマから在宅看護学領域を選択しました。

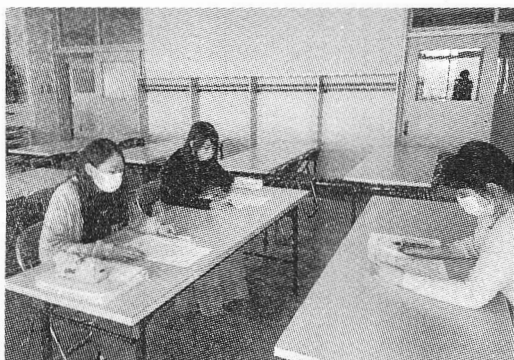
近年、病院での入院期間が短くなり在宅療養が推進され、在宅看護や住み慣れた地域で安心して生活することができるよう「地域包括ケアシステム」が着目されています。

養生生活をする方やご家族を対象とした内容や認知症に関する看護など多岐にわたるテーマで取り組んでいます。

その上で、研究に取り組むことにより、必要かつ明確な目的を持つことが求められます。その作業は、想像以上に大変ですが研究室のメンバーや先生とディスカッションしながら興味深く地道に取り組んでいます。

私は、まず興味のあふる内容をキーワードとして挙げて、次にキーワードを掛けて、合わせて、先行研究に関する論文や雑誌、統計資料などの文献を読んで、関心のあるテーマについて明らかにしていることや明らかにしていることがないことについてまとめたいです。

この過程では、研究をする上ではとても重要です。また、その過程で、思いがけず関連する情報が得られることもあり、広い視野を持つ様々なことに関心を持つことも大切である



と学びました。私は、看護研究を通して視野を広く持つことや目的意識を持つことの大切さを感じています。今後自分の研究テーマが社会や看護分野に

どのように貢献できるかを考えながら、私の研究テーマについて明らかにすることができるように引き続き取り組んでいきます！

そして、保健師として就職してから、研究成果を活かして働くことが楽しみです。

看護学科4年
丸谷理香子

私を含む看護学科
4年生は、卒業研究

研究室では、地域で療

養生活をする方やご家族を対象とした内容や認知症に関する看護など多岐にわたるテーマで取り組んでいます。

その上で、研究に取り組むことにより、必要かつ明確な目的を持つことが求められます。その作業は、想像以上に大変ですが研究室のメンバーや先生とディスカッションしながら興味深く地道に取り組んでいます。

私は、まず興味のあふる内容をキーワードとして挙げて、次にキーワードを掛けて、合わせて、先行研究に関する論文や雑誌、統計資料などの文献を読んで、関心のあるテーマについて明らかにしていることや明らかにしていることがないことについてまとめたいです。

この過程では、研究をする上ではとても重要です。また、その過程で、思いがけず関連する情報が得られることもあり、広い視野を持つ様々なことに関心を持つことも大切である

そして、保健師として就職してから、研究成果を活かして働くことが楽しみです。

看護学科4年
丸谷理香子